# 7月給食だより



平成 28 年 6 月 30 日 練馬区立豊玉第二小学校 校 長 佐 野 匡 栄養士 志 摩 啓子

湿度の高い、暑い日が続きます。 复ばてしている人はいませんか? 覧ばてを防ぐためには、規則定しい生活と、バランスのとれた食事、そして半分な睡眠 をとることが基本です。 草寝・草起きをして、しっかり朝ごはんを食べて、暑い質を完養 に過ごしましょう。

# 夏はてを防ぐ食事のポイント!

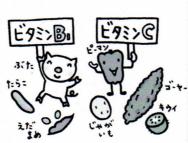
「复ばて」とは、复の暑さのために作が弱ってしまうことをいいます。後欲がなくなったり、よく眠れなくなったり、作の強れがとれにくくなります。またそうした症状がさらに他の症状を引き起こして無循環に陥りやすくなります。さらに現代の生活では、冷房が効いた部屋と暑い外の間の温度差に作がうまく対応できずに起きてしまうこともあります。後生活置からの注意点です。

#### 偏った食事をしない!



あっさりした食事ばかりでは、疲れがとれにくくなります。栄養バランスのとれた食事をしましょう。「主食、主菜、副菜、汁物」をそろえて食べると、栄養バランスが整いやすくなります。

## ビタミンB群、C を多く!



炭水化物やたんぱく質を体で利用するときに欠かせないビタミンB群は夏ばての予防に大切な栄養素です。また体の抵抗力を高め、鉄の吸収を助けるビタミンCも意識してとるようにしましょう。

## 冷たいものを食べすぎない!



暑くなるとのどごしのよい冷たいものやドリンクなどを多くとりがちですが、胃に負担をかけます。また糖分のとりすぎにもつながりやすく、食欲をなくしてしまう原因にもなります。

このほか、生活習慣としては「養る齢の冷房にはタイマーをかける」「朝夕の涼しい時間に体を動かして上手に許をかく」などを心がけるとよいですよ。さらに永労精給は、熱や症を防ぐうえでとても大切です。そのときは胃腸に貧迫をかけないよう、一度にたくさん飲まないようにするのがポイントです。水や菱紫で、のどが渇く静にコップでこまめに飲む習慣をつけましょう。